

当院内視鏡検査の特徴

1. 鼻からの経鼻内視鏡もあります。

苦痛が少なし

内視鏡は、鼻にスコープを導入できる、約5mmの細さです。検査中の苦痛が少なく、特に高齢の方でも受けやすいです。



検査時間が短く済む

内視鏡が鼻のつけ根を通らず、のどに触れることもないので、手術室で検査を受けると人と感じずに検査を受けられることができます。



命懸けでできる

検査中も会話が可能です。質問をしながら検査を受けることができます。医師と患者との距離が近いので安心です。



2. 鎮痛剤・鎮静剤を使用して苦痛の少ない検査が可能です。

3. CO₂ガス（炭酸ガス）を使用するので、検査後もお腹が張りません。



受付



前処置室



内視鏡室

4. アロマが焚いてあるお部屋でリラックスして検査が受けられます。

5. 内視鏡専門のスタッフによる精度の高い検査を行います。

医師紹介



角田 祥之

群馬大学卒業
国立がんセンター東病院、東京辻仲病院を経て、
H22年より当院常勤
専門：大腸肛門外科
消化器内視鏡検査・治療
資格：日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医 ほか



角田 千尋

東京女子医科大学卒業
国立がんセンターを経てH23年より当院常勤
(現在国立がん研究センター-非常勤医員兼任)
専門：消化器内視鏡診断・治療
資格：日本内科学会認定医
がん治療認定医

非常勤医師

石橋 明博・渡辺 亮